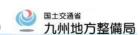


## 今年度の新たな取り組み

- 1) 生産性向上 (≒時間外労働削減) を実感するための運用基準の再構築
  - ●働き方改革のための5つの運用基準(通称 "5(ファイブ)ルール")の**改正とパッケージ運用** 
    - ①「土木工事書類省力化ガイド」の改正
      - ⇒・名称変更:旧「土木工事書類簡素化の手引き(案)」
        - ・現場からの意見を反映し、解釈に齟齬が出ないような具体的な表現や明言へ
    - ②「いきいき現場づくり」の改正
      - ⇒・建コン協との意見交換等を参考に、"工期末の第4・四半期集中"を改善する策を追記
    - ③「設計変更ガイドライン(工事)」の改正
      - ⇒・現場からの意見等を反映
    - ④「土木工事施工条件明示の手引き」の改正
      - ⇒・施工途中で発生しうる変更も想定した当初設計条件の積極的な記載
    - ⑤「工事一時中止に係るガイドライン」の改正
      - ⇒・現場からの意見等を反映
  - ●5ルールの理解と適正運用を促す「**工事の適正執行のための勘所**」の作成
    - ⇒・「5ルール」の運用上、特に重要な事項&現場での留意・配慮事項等を見える化
  - ●変更設計の支援策として「**工事図書等作成支援の手引き**」の作成
    - ⇒・発注者が作成すべき工事変更図書について、やむを得ず発注者自ら作成できない 場合の対応策を新たに整理

働き方改革(罰則付き時間外労働規制)に向けた九州地整の新たな取り組み(2/2)



1

## 2) 現場の認識と運用徹底のためのブロック説明会(キャラバン)

- ●対面により発注者等がおかれている現状(品確法、労基法等の社会情勢の変化等 含む)等も含め、「工事の適正執行のための勘所」等による5ルール適正運用 の徹底を図る
- ●キャラバンは発注者、受注者の双方に実施(開催方法は地域毎に調整)
- 3) 2024問題に特化した"OODAループ"による集中管理"
  - ●期間限定(~来年度末)で、例えば出張所長・建設監督官の代表者と連携してOODAループ(※)を構築

前述のブロック代表者と企画部 担当官のweb会議等による情報共有

●5ルールの周知や運用状況、改善点などの情報収集と必要により迅速なフォロー

※: OODA=Observe\_「観察」、Orient\_「状況判断」、Decide\_「意思決定」、Act\_「行動」 スた゜ーティ゛かつ状況に合わせた柔軟な対応が可能

2